

2026年2月5日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

株式会社インプレッション様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ(代表取締役社長 岩崎 俊一郎)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社インプレッション様(北海道札幌市、代表取締役 青山 央明様)が本サポートを利用し『ステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	株式会社インプレッション
所 在 地	札幌市西区発寒6条11丁目1-1 新道北口ビル3階
代 表 者	代表取締役 青山 央明
業 種	建設業 / 生活用品販売業

※ステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

North Pacific Bank

サステナビリティ経営方針

私たちは、職員自らが楽しみ、夢を実現することを目指します。

過去を大切に新たな未来を創る挑戦を続けてまいります。

事業に影響を与える環境変化

【環境】

- 脱炭素に向けた社会変化
- 環境対応需要の拡大
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済の加速

【社会】

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観・ライフスタイルの変化
- 世帯構造・社会構造の変化
- 働き方改革の進展
- 法改正による人材確保の難化

【経済・ガバナンス】

- サプライチェーンの見直し
- アフターコロナにおける産業構造の変化
- 消費者の情報収集経路及び嗜好の多様化
- サイバー攻撃の増加
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

- 経営理念 -

「ヒトとともに」
明日をもっと楽しみたい。
そんな毎日の実現を。

- 経営ビジョン -

すべての人にとって
「エシカルな毎日」を
実現する

重要課題(マテリアリティ)

グループの未来を支える 成長戦略

「ヒトとともに」挑む 業務プロセス最適化

人材戦略の深化

サステナブルで 未来を創る

強靭な組織基盤の構築

取組内容

既存事業の拡大と新規事業の創出

- 受注から施工までの一貫体制構築
- 円滑なコミュニケーションの実現
- 建設DXの推進

- 人材育成
- 採用強化

- 従業員の環境リテラシー向上
- CO2排出量の可視化

- マニュアル策定による業務平準化
- 労働災害の防止

主なステークホルダー

顧客(発注者)

高品質施工の
提供

社員及び その家族

働きやすさと
働きがいの両立

取引先 (元請・外注先)

強固な協力関係
の実現

地域社会

持続的な成長・
発展

環境

環境負荷の低減

サステナビリティ経営への取り組み

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するため重要な課題をマテリアリティと定め、取組内容を設定しております。マテリアリティに基づく取り組みの推進を通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

社会



環境



私たちは、最新技術を積極的に取り入れ、一人当たりの生産性と業務効率化の向上を進めることで、社員一人一人のワークライフバランスの充実を目指してまいります。

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題 (マテリアリティ)	取組内容	KPI	目標(到達点)	
			数値	時期
「ヒトとともに」挑む業務プロセス最適化	受注から施工までの一貫体制構築	受注から施工までの期間	5日間 短縮	2030 年度
	円滑なコミュニケーションの実現	情報共有ツールの導入及び使用率	100%	2030 年度
	建設DXの推進	業務DX化件数	3件	2026 年度

私たちは、CO₂排出量削減に向けた取り組みと環境問題について知識の習得を進め、環境にやさしい材料・エネルギーの導入・使用について検討してまいります。

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題 (マテリアリティ)	取組内容	KPI	目標(到達点)	
			数値	時期
「ヒトとともに」挑む業務プロセス最適化	従業員の環境リテラシー向上	環境保全に関する勉強会実施数	年2件	2030 年度
	CO ₂ 排出量の可視化	CO ₂ 排出量の算定	—	2026 年度

経済・ガバナンス



私たちは、環境・社会に配慮した意思決定を行い、安心安全な組織基盤を確立することで、持続可能な経営体制を築いてまいります。

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題 (マテリアリティ)	取組内容	KPI	目標(到達点)	
			数値	時期
人材戦略の深化	グループの未来を支える成長戦略	既存事業の拡大と新規事業の創出	売上高 2025年度比 150%	2030 年度
	強靭な組織基盤の構築	マニュアル策定による業務平準化 労働災害の防止	新規事業取り組み件数 4件 受注現場における労災事故発生件数 ゼロ	2030 年度